

認知症診療の地域拠点に

県から指定 早期発見・治療目指す

桔梗ヶ原病院

塩尻市宗賀の桔梗ヶ原病院（小松喬院長）は1日付で、県から認知症の専門医療機関として相談や診療にあたる「認知症疾患医療センター」の指定を受けた。県内に10ある二次医療圏のうち木曾医療圏と松本医療圏を担当し、塩尻市と木曾広域を中心に認知症の早期発見・早期治療を目指す。

（深澤摩乙）

認知症の疑いがある人やその家族、かかりつけ医、介護事業者などから相談を受けて診察や検査をする。認知症専門医2人と神経内科専門医1人が診療にあたり、臨床心理士も置くほか、精神保健福祉士と看護士も配置する。

認知症疾患連携協議会の設置・運営も担当する。

地域連携拠点として圏域内の9市町村や塩筑医師会、木曾医師会、地域包括支援センター、介護事業者などと協力して支援を行う。研修会も開いて地域の医療・介護技能の向上や住民への情報発信にも努める。

認知症専門医の中居龍平センター長は「地域としては認知症対策は遅れ気味。センターとして地域の力を借りながら、医療の手が伸びていないところへ広げられるようにしていきたい」と話していた。

診療や相談に関する問い合わせはセンター

(☎0263・54・7880、平日午前9時

～午後5時、木・土曜日は正午まで)へ。

1日付で認知症疾患医療センターとして指定を受けた桔梗ヶ原病院

